

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

● お守りいただく内容を次の図記号で区分してあります。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

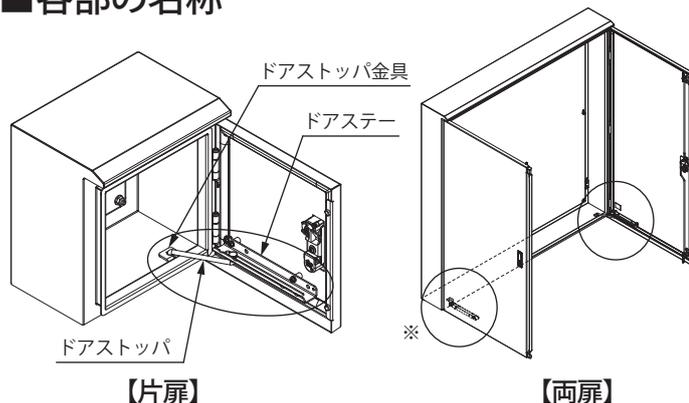
■施工上のご注意

注意					
	ドラスター・ドアストッパ金具の穴開けなどの二次加工はしないでください。変形・破損の原因になります。				
	本製品をキャビネットに取付ける際は、キャビネットを立て、転倒防止の処置をしてから行ってください。けがの原因になります。 ドアストッパ金具を取付けるためにキャビネットへ穴加工した部分は、突起やバリをヤスリなどで確実に除去し、タッチアップペイント(弊社型番:BP81)などで補正を行ってください。錆が発生するおそれがあります。また、ドアストッパを取付ける際は、シールワッシャー(白色)を必ず取付けてください。IP性能の保持ができなくなるおそれがあります。				
	<p>使用するねじは、付属されたものを使用してください。取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合は、変形・破損の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M5</td> <td>1.8 ~ 2.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ただし、タッピングねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。</p>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m※	M5	1.8 ~ 2.9
ねじの呼び	適正締付トルク N・m※				
M5	1.8 ~ 2.9				

■使用上のご注意

警告	
	10m/s以上の強風時に扉の開閉作業は行わないでください。ドアストッパおよびキャビネットの破損により扉が閉まり、けがの原因になります。
	キャビネットを寝かせた状態で使用しないでください。ドアストッパが外れ扉が閉まり、けがの原因になります。
注意	
	適用キャビネット以外で使用しないでください。変形・破損の原因になります。
	扉固定の目的以外で使用しないでください。変形・破損の原因になります。
	ドアストッパ固定時の扉の開角度は約90°です。固定した状態で扉に荷重をかけないでください。固定部の変形、破損の原因になります。
	長期間の使用で取付部のゆるみがないか、定期的に点検してください。ゆるみがある場合は適正締付トルクにて増締めしてください。変形・破損の原因になります。

■各部の名称



●構成部品

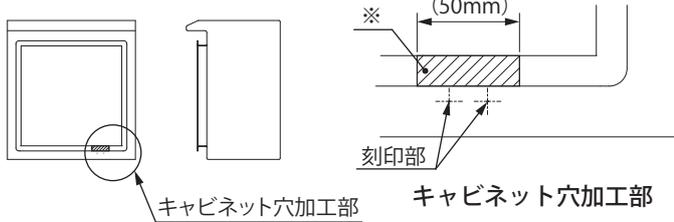
名称	個数	姿図	名称	個数	姿図
ドアストッパ	1コ		フランジ付ナベ小ねじ M5×8 (ステンレス)	2コ	
ドラスター	1コ		フランジ付六角タッピングねじ M5×10	1コ	
ドアストッパ金具	1コ		ナベ小ねじ M5×14	2コ	
シールワッシャー (白色)	2コ		取扱説明書 (本紙)	1部	
ワッシャー (黒色)	1コ				

※. 左右とも取付の場合は2セット必要です。

■取付方法

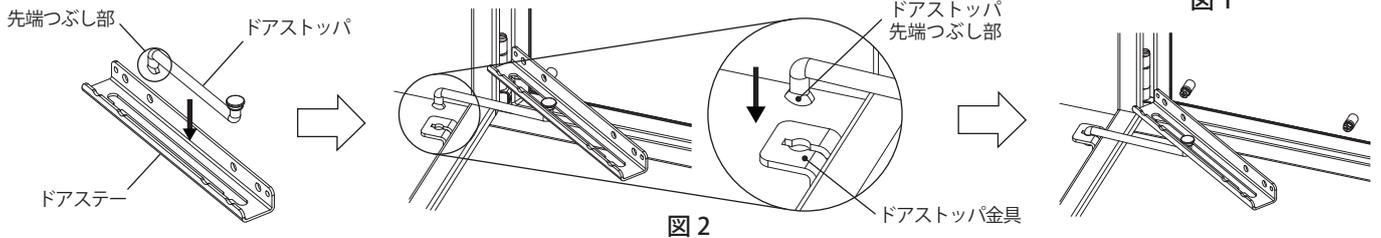
1. キャビネットの穴加工図に従って刻印部に2-φ6の穴加工をしてください。

【キャビネット穴加工図】



※穴加工の際、キャビネットのボデー水切り面が傷つかないように、斜線部を養生テープなどで保護してください。

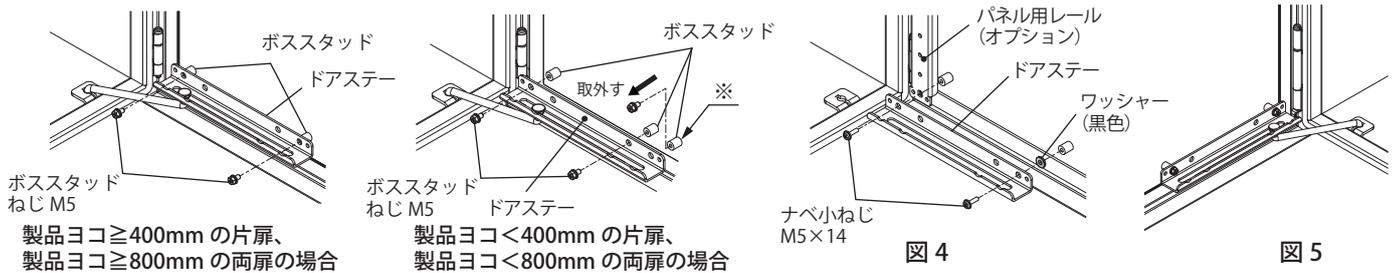
2. ドアストッパ金具をフランジ付ナベ小ねじ M5×8(ステンレス)、シールワッシャー(白色) (2カ所) で取付けてください。(図1)
3. ドアストッパの先端つぶし部を下にして、ドアストッパをドアステーの抜き穴に上から差し込んでからドアストッパの先端つぶし部をドアストッパ金具に奥まで差込んでください。(図2)



- 4-1. 扉内側にあるボススタッドねじ M5 (2カ所) を取外し、ドアステーをボススタッド (2カ所) に固定してください。
※部にボススタッドがある場合は取付けの妨げになりますので、ボススタッドねじ M5 を取外してください。(図3)

【ご注意】※部のボススタッドは使用できなくなります。

- 4-2. パネル用レール(オプション)と併用する場合は、付属のナベ小ねじ M5×14 (2ヶ所) で固定してください。
片側のみパネル用レールを取付ける場合は、段差解消用に付属のワッシャー(黒色)をご使用ください。(図4)



製品ヨコ \geq 400mmの片扉、
製品ヨコ \geq 800mmの両扉の場合

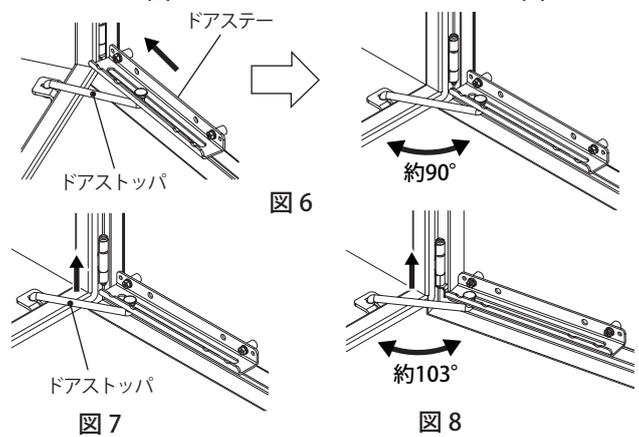
製品ヨコ $<$ 400mmの片扉、
製品ヨコ $<$ 800mmの両扉の場合

- ・両扉の左扉に取付ける場合も同様の手順で対称に取付けてください。(図5)
- ・ドアストッパを取外す際は、取付けと逆の手順にて取外してください。

■使用方法

1. 扉を開くと自動的にドアストッパがドアステーをスライドし、約 90° で固定されます。(図6)
- 2-1. 扉を閉める際は、ドアストッパを上へ持上げてストッパを解除してください。(図7)
(ドアストッパを上へ持上げにくい場合は、扉の開角度を少し変えていただくことが出来ます。)
- 2-2. 扉を 90° 以上開けたい場合は、ドアストッパを上へ持上げてストッパを解除し扉を開いてください。
約 103° まで開けることができます。(固定はできません) (図8)

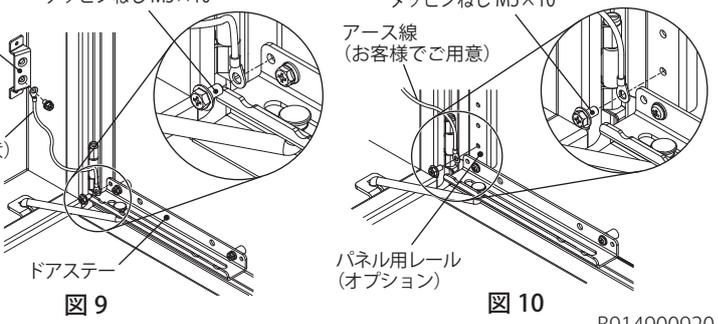
【ご注意】扉を閉める際、約 90° で再度扉を固定する場合は、勢いよく閉めると固定されない場合がありますのでゆっくりと閉めてください。



■扉へのアース線接続

ドアステーに付属のフランジ付六角タッピンねじ M5×10 を取付けることで、扉の接地端子としてご使用することができます。アース線で接地端子(ボデー側)と接続してください。(図9)アース線はお客様でご用意ください。

【ご注意】パネル用レール(オプション)と併用する場合は、ドアステーに付属のフランジ付六角タッピンねじ M5×10 を取付けることができません。扉の接地はパネル用レールで行ってください。(図10)



仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。この説明書の内容は 2017 年 4 月現在のものです。